調整部会の検討状況について

資料５－１

|  |
| --- |
| （平成30年度第１回調整部会）　日時　平成30年６月22日（金）10時00分～12時00分場所　シルクセンター地下第１階　大会議室概要　・　第15回県民会議までの委員意見等も踏まえて、提案書の見直しについて意見交換を行った。・　県民からの意見収集については、調整部会で出された意見等を並べ、一つずつ評価してもらうアンケート形式とすることとした。 |

【各委員からの主な発言のまとめ】（詳細は参考資料３－４参照）

１　全体

・　基本理念の確認と、基本的な考え方への内容の位置づけが必要

２　提案書の各提案内容について

（１）バリアフリー教育の充実について

・　バリアフリー教育に関して、学校教育だけでなく、地域の人たちの共感を得るような仕組みという意味では、対象別ではなく、一緒になってやっていくということも必要

　・　狭い意味でのバリアフリーではなく、街づくりの中でのバリアフリーや、相互理解、人権の認め合う社会づくりが共生社会を作っていくことになるという意見

　・　地域団体との連携が必要という意見

（２）多様な人が住まう「街」への気づき、障害者理解の推進について

　・１と類似する部分が多いため、切り分けるか統合することでも良いのではないか。

（３）安心して出かけられる「街」の実現を目指して

　・　行政情報が得られていない課題

　・　情報アクセスだけでなく障がい当事者から情報発信できる仕組みを考える必要性

（４）条例適合施設・遵守率向上に向けた取組み

　・　社会情勢等を踏まえた条例見直しや、そのことによる遵守率向上期待に対する意見

　・　条例に関して、設計側に認識を深めてもらう必要性

　・　バリアフリー法改正に関して多くの人にしってもらう

（５）施設の計画段階における関係者の参画

　・　参画の重要性を知ってもらい事例を増やしていくことの必要性

３　アンケートについて

・　自由記入を基本とすると回答が集まりにくいと思われるため、意見一つ一つについて賛成か反対を聞くといった、答えやすい形式の方がよい。

・　良くなったこと、悪くなったこと等を聞き、どこまでバリアフリーの街づくりが達成されたのか把握できるようにしたほうがよい。

|  |
| --- |
| （意見募集の実施）　部会での意見を踏まえ、事務局と調整部会長及び県民会議座長とでアンケートを調整した。部会委員の確認を得た後、平成30年10月11日からアンケートの配布により意見募集を開始した。 |